

## 先進医療 2016年1月から、眼科で2つの先進医療が開始されました。

- ・ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法)
- ・細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断 (PCR法)

眼科 中野 聡子 久保田 敏昭

ウイルス、細菌、真菌などによる目の感染症は、急激な経過をたどり失明に至ることがあります。病原体によって有効な薬が異なるために正確で素早い診断が必要ですが、眼感染症の臨床像は大変似通っていて病原体の推測が難しい場合があります。

PCR診断法とは病原体が持っている遺伝子を増やして検出する方法で、わずかな量の検体からも病原体を見つけることができます。眼内液や組織、涙など、目の場合はいずれも微量しか採取できないのでPCR診断法が威力を発揮します。多量の検体を必要とする従来の方法では一度に数種類の病原体しか検査できず、検査にも1週間以上の時間がかかっていました。この新しい眼感染症PCR診断法は、多くの病原体について数時間で網羅的に診断ができる優れた検査法であることから、厚生労働省から先進医療に認定されました。

大分大学医学部附属病院眼科はこの検査法を共同開発していることから、全国で3番目に早く先進医療を導入することができ、すでにたくさんの患者さんに役立っています。以前は、眼感染症の原因となる病原体の正体が分からないことが多くて診断・治療に時間がかかっていましたが、



PCR検査の様子

現在はきちんと病原体を検査して、早期から適切で有効な治療を行うことができるようになりました。

大分県内の開業医の先生方からも検査のために多くの御紹介を頂いており、県外の大学病院の求めに応じて検査方法の指導にも行っています。

今後はさらに検査方法を改良し眼感染症の診断・治療に役立つことを目指すと同時に、眼科以外の科とも連携して様々な感染症の迅速網羅診断に広く役立つことを目指しています。

# シリーズ 病院再整備

## 【眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の移転】

病院再整備に伴い、次のとおり場所が移転しましたのでお知らせします。

●眼科

平成28年7月19日から外来棟2階に移転しました。

●耳鼻咽喉科・頭頸部外科

平成28年7月25日から外来棟1階に移転しました。



(受付)



(受付)

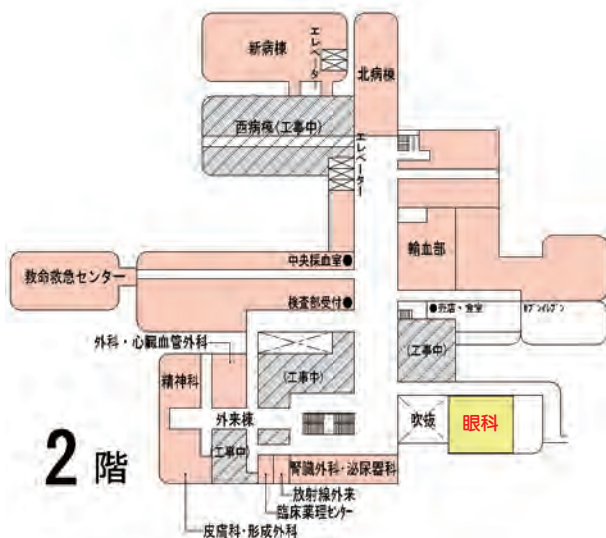


(視力検査室)

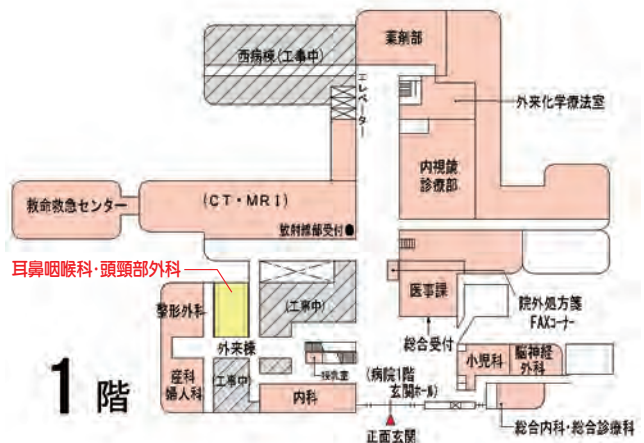


(診察室)

※移転場所は下記のとおりです。



2階



1階

(文責 病院再整備推進室)

# シリーズ サービス向上への取り組み

## 看護部 2階東病棟

2階東病棟は、脳神経外科・眼科・神経内科の混合病棟です。  
大学病院では、急性期、重症の患者さんが多く、病気や症状が多岐にわたることから職種を超えた学習会やチームでのカンファレンスを計画的に行っています。



うつぶせ体験中



寝たまま入浴できる装置

その中でも、看護師は患者さんの様々な病気の症状・治療の経過に合わせて、安心して快適な入院生活になるよう取り組んでいます。

たとえば、看護師が「眼科の手術後に必要な、うつぶせや体の向き制限」「脳神経外科・神経内科の患者さんの症状に合わせた移動方法」などの体験をすることで、より患者さんの気持ちを理解するように努めています。

病棟の特徴は、体を動かさない患者さんも気持ちよく入浴できるような機械浴があり、看護師の介助のもと、多くの患者さんが利用されています。また、入院中の日常生活動作が患者さんの退院後の生活につながることを意識しながら、病棟でのリハビリテーションも行っています。

患者さん・ご家族を中心に多職種でチームを組み、患者さんが病気や症状と付き合いながら、その人らしく社会復帰できることを応援しています。

(文責 2階東病棟 嶋川由紀)

## がん患者さんへ



## 大分労働局 ハローワーク大分

## 就職支援のご案内

## 長期療養しながら働きたいという方へ

ハローワーク大分が大分大学医学部附属病院で、平成28年7月から、がん患者さん対象の就職支援出張相談をはじめました。

悩み・不安をハローワーク大分がご相談に応じます。

ハローワーク大分では、専門の就職支援担当者「就職支援ナビゲーター」を配置しています。マンツーマンであなたの就職を支援します。能力や適性、病状、治療状況などを考慮して、仕事をご紹介します。

**対象**：就職を希望するがん患者さん

**日時**：毎月第4水曜日 13:00～16:00 **事前予約制**

**場所**：大分大学医学部附属病院 1F 面談室

**予約受付・お問い合わせ先**

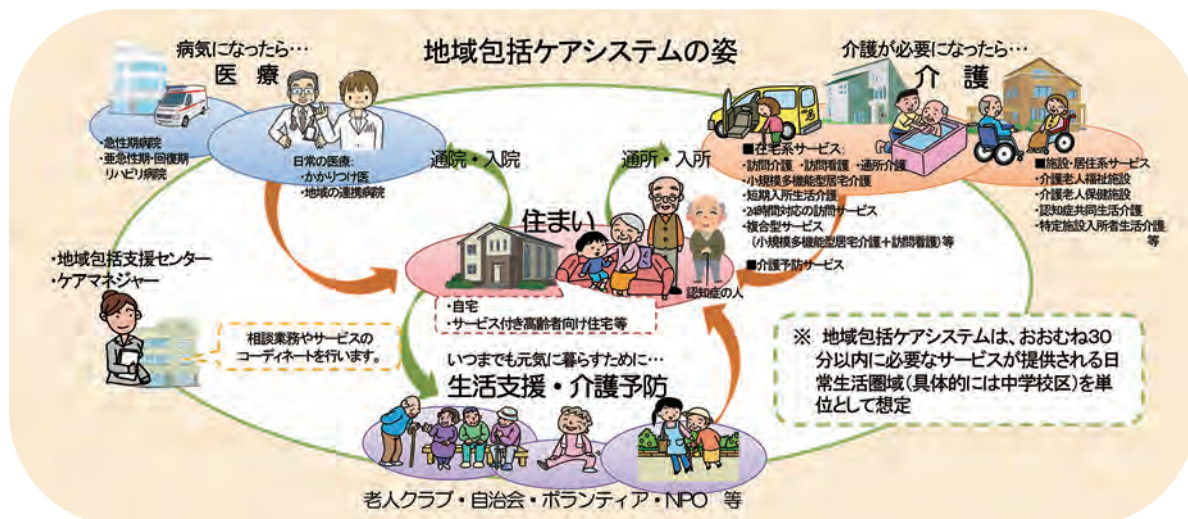
大分大学医学部附属病院 1F がん相談支援センター受付  
電話番号：097-586-6376（平日 8:30-17:00）

(文責 医事課)

## 地域包括ケアシステムの実現へ向けて

日本は、急速に高齢化が進行しており、国民の4人に1人は65歳以上です。団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的の下で、**可能な限り住みなれた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように**、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。



病院の機能分化や担うべき役割を明確にすることも、この地域包括ケアシステムの実現のための方法の一つです。大学病院には高度で専門的な医療を皆様に提供するという重要な役割があります。

そのため、本院では、初診の方には、地域の医療機関との連携を推進するためにも、紹介状のご持参をお願いしています。また、症状が安定した方は、かかりつけ医を紹介しそこで治療を続けていただき、もし、症状の悪化等があれば、また、本院で診療を行うという逆紹介を行っています。

ご不便をおかけするかもしれませんが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(文責 医事課)

## 小児科の初診受診について

本院小児科では、平成29年1月1日から、初診の患者さんには、必ず紹介状が必要になりますのでご注意ください。

本院で他の科を受診されている方も同様に紹介状が必要です。ご不便やご面倒をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



(文責 医事課)

## 総合患者支援センターを設置しました。

平成28年10月1日付で、地域包括ケアシステムに対応した患者さん中心の医療体系を提供するため、既存の地域医療連携センターを発展的に解消し、大分大学医学部附属病院総合患者支援センターを設置しました。

総合患者支援センターの目的は、次のとおりです。

- ・ 初診時から退院後の外来通院や在宅療養まで切れ目のない療養支援を目指す
- ・ 入院前から患者情報を多職種で共有し、円滑な検査、治療の実施に続ける
- ・ 患者の抱える課題に対し、専門性を発揮しながら多職種が連携し多面的な視点で対応する

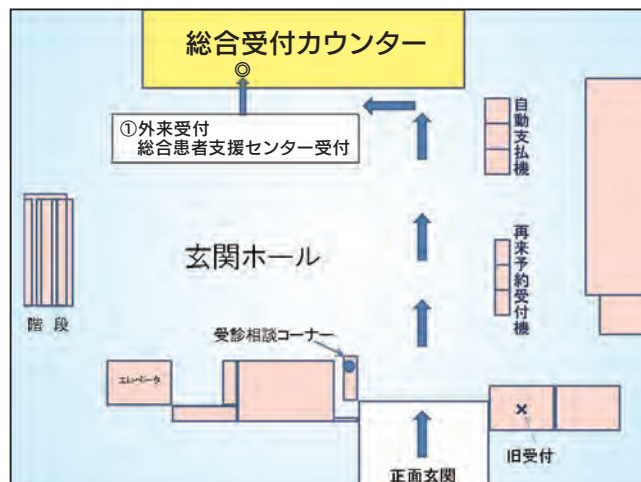
地域医療機関と連携を図りながら患者さんと家族の皆様が、地域社会の中で医療・看護・介護を安心して受けられるよう、在宅生活への早期復帰や日常生活の質の向上のため、本院ではより柔軟かつ細やかな支援を目指します。総合患者支援センターでは、地域医療機関との連携による円滑な入退院支援や福祉サービスの提供に努めます。

### 【総合患者支援センター10月からの変更点】

- ・ 受付場所を、総合受付カウンターの総合患者支援センター受付へ変更します。
- ・ 受付の時間は午前8:00~10:30です。(開始時間が30分早くなります)

### 【総合患者支援センターの電話番号・FAX番号】

- ・ 大分大学医学部附属病院・総合患者支援センター  
T E L 097-586-6360・5250  
F A X 097-586-6358  
E-mail renkei@oita-u.ac.jp  
ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/renkei/index.html>



総合患者支援センター受付案内図



あなたの声を待っております。良い病院になるために



患者さんの「声」は要約して載せておりますのでご了承願います。

声

正面玄関右手前の「降車専用」一時停車スペースに止めようとしたところ、ちょうどバスから降りてきた学生が前や後ろを通過して来て困りました。

校舎に行く最短距離なのでしょうけど通行制限して欲しいです。

回答

降車スペース付近の通行について全学生に対し、注意喚起しました。  
また、構内に配置している警備員にロータリーを横切る学生を見かけ次第、厳重に注意するよう要請しています。

声

院外処方箋について、診療で処方箋が複数枚出る場合には、たとえば3枚の時には1/3、2/3、3/3と用紙に記入すると分かりやすい。

回答

院外処方箋に関して、貴重なご意見有難うございます。患者さんへの院外処方箋が複数枚にわたる場合には、院外処方箋の下方にページ数を印字するようにいたしました(例: 1/2ページ)。  
また、他の書類等と区別するために、院外処方箋を薄青色用紙へ変更いたしました。

声

手術の際の家族待機室を改善してほしい。手術の進行状況などが分かれば安心します。

回答

家族待機室は、平成28年6月に手術室と同じ3階に1部屋増築し、2部屋設置していますが、今後、家族待機室の改善を図るため、改善内容すべき点を具体的にご指摘いただくと幸いです。

また、手術の進行状況等については、時間内は手術部受付、時間外は病棟へお問い合わせいただければ、執刀医に確認し、お伝えするようにしています。また、家族待機室に確認方法を掲示いたします。

声

地域医療連携室での患者の受付はなぜ午前8時から始めないのか。他の受付は午前8時から始めていてここだけ何人も待っている。

回答

地域医療連携センターの受付は、事前に他の医療機関から紹介された患者さんの情報をFAXで受け取り、カルテを準備してお待ちしておりますので、当日は通常の初診患者さんに比べ手続きに時間が掛かりません。よって、8時30分から受付を開始していましたが、10月1日より、すべての初診患者さんの受付窓口の場所と受付開始時間(8時から)を統一する予定です。

なお、来院日当日は保険の確認や、紹介状とCD-ROMの取り込みのため、お待ちいただくことがありますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

声

案内表示が分かりにくいです。迷っている人が多いです。年齢を問わず分かり易い表示を！特に避難表示は、現在地も分からない。

エレベーターは、「エレベーター」と記す。表示基準が「入口」からがいいので、「東西南北」がいいのか、初めて使う人側に立って、考えて表示を！

回答

病院再整備に伴う外来棟の改修工事により、各診療科外来の移転で通行できない箇所が数多く発生し、ご迷惑をお掛けしております。

院内表示については、移転等があった際は、適宜、変更しておりますが、避難誘導の表示や現在地の表示が漏れておりましたので、付け加えました。

また、今後は、より分かり易い表示を意識して作成するとともに、改修後は、皆様のご意見を反映していきたいと思っております。

(文責 病院長 津村 弘)

## 大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411 (代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

1号から66号までの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

